

メンテナンスのスピード化と省力化を実現!

ITを活かす  
システム  
ソリューション

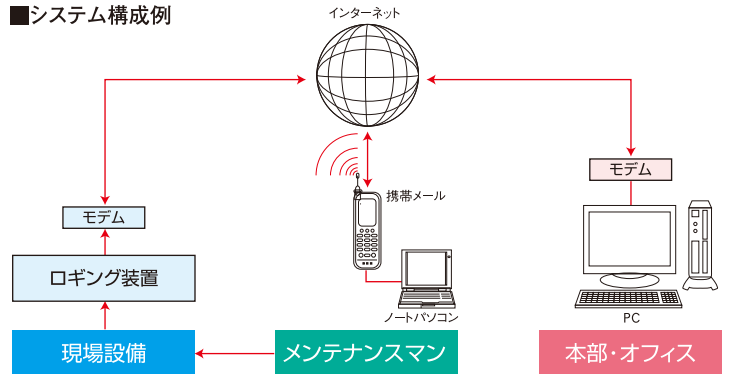
# 設備監視情報システム

本システムは現場設備の稼動状況を「ロギング装置」で収集し、インターネットを介して離れた場所にある「メンテナンスマン」や「オフィス」にデータ配信するシステムです。

特徴

- プロバイダの複数接続によりデータの安全性を高めることを可能にします。
- 携帯電話メールにて異常を知らせます。
- 異常発生までの経過が判り、故障解析、判断に役立ちます。
- 設備稼動状況は毎日自動収集が可能です。
- 管理ソフトで、ユーザーに合わせて帳票が作成できます。

## ■システム構成例



システム構成にあたり次の機器、設備が必要です。

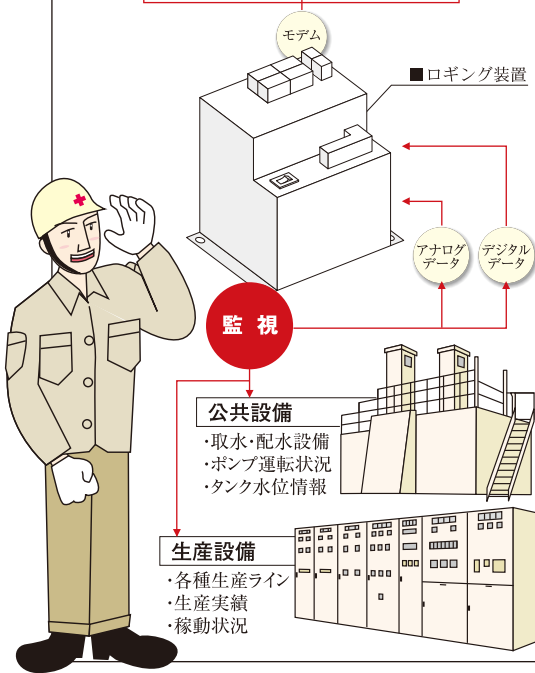
現場設備	メンテナンスマン	本部・オフィス
<ul style="list-style-type: none"> <li>●ロギング装置</li> <li>●インターネット回線</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●携帯電話器</li> <li>●ノートパソコン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●データベース用サーバ</li> <li>●管理パソコン</li> <li>●プリンタ</li> </ul>

## 遠く離れたデータを手元に収集。

### 現場設備

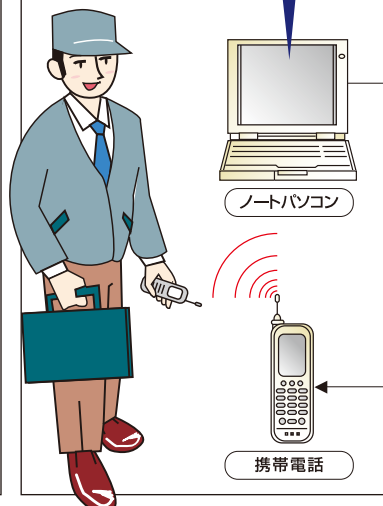
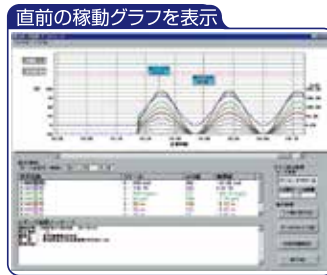
現場設備の稼動状況をロギング装置で収集し、インターネットを介して遠方へ送信します。(現場設備の緊急情報をいち早く配信!)

通常メール	異常メール	特別メール
日々の稼動状況を1日1回受信できます。	ロギング装置にてメール優先度を設定し、重故障・軽故障など異常レベルの違いが受信できます。	メンテナンスマンがロギング装置へデータ要求し、現状のデータが受信できます。



### メンテナンスマン

離れた場所からでも携帯メールで故障発生直前の情報が入手でき、診断した内容を現場に指示ができ早期に故障の解消ができます。



### 本部・オフィス

オフィスでは、インターネットを介して現場設備のロギング装置より毎日一定時刻にデータの収集ができます。その情報から、管理ソフトにて各々の設備の帳票や稼動データの作成が可能です。

